



ロンドン交響楽団 ブラス・クインテット

# LSO Brass Quintet



2012年  
4/19(木) 19:00

浜離宮朝日ホール

Thursday, April 19, 2012 at 7 p.m.  
Hamarikyu Asahi Hall

全指定席 ¥5,000 学生席 ¥2,500

Members:

- フィリップ・コブ(トランペット)  
Philip Cobb (tp)
- ニアール・キートリー(トランペット)  
Niall Keatley (tp)
- ティモシー・ジョーンズ(ホルン)  
Timothy Jones (hr)
- ダドリー・ブライト(トロンボーン)  
Dudley Bright (tb)
- パトリック・ハリルド(チューバ)  
Patric Harild (tub)

- J.メイナード: ファンファーレ  
James Maynard: Fanfare for Five
- J.S.バッハ(D.ブライト編): 「ゴルトベルク変奏曲」から 組曲  
J.S. Bach (arr: Dudley Bright): Suite from Goldberg Variations
- V.エワルド: 金管五重奏曲第3番 op. 7  
Victor Ewald: Brass Quintet No.3 in D flat major op. 7
- C.メイソン: Isolarian II (委嘱新作)  
Christian Mason: Isolarian II [new commission]
- J.パーカー: ザ・ゴールデン・セクション  
Jim Parker: The Golden Section
- A.L.ウェバー(N.ゴム編): アンドリュウ・ロイド・ウェバー・メドレー  
(「ジーザス・クライスト・スーパースター」「キャッツ」「アスペクト・オブ・ラブ」  
「エビータ」「サンセット大通り」「オペラ座の怪人」などのナンバーから)
- A.L. Webber (arr: Nigel Gomm): The Music of Andrew Lloyd Webber

# 金管五重奏の正統をいく、LSOブラス・クインテット

2本のトランペット、ホルン、トロンボーン、チューバで編成される現在の金管五重奏の歴史は長くない。実質的なスタートは、1954年に結成されたニューヨーク・ブラス・クインテットだと言っている。彼らのために書かれたアーノルドの金管五重奏曲第1番は、この編成の魅力と最大限引き出した名曲として現在でも重要なレパートリーになっている。しかし、世界中に人たちが、この曲の魅力、そして金管五重奏という編成の可能性を知るきっかけになったのは、イギリスのフィリップ・ジョーンズ・ブラス・アンサンブルのレコードを通してであった。当時、まだ娯楽としてしか認知されていなかった金管アンサンブルを気品ある芸術として高めた彼らの功績は大きい。やがて、彼らは金管十重奏を基本編成にしてしまい、五重奏をあまり取り上げなくなってしまうが、その理念を受け継ぐように1970年に結成されたのが、バリー・タックウェルやデニス・ウィックら名手たちによるロンドン交響楽団ブラス・クインテットである。音の豊かなB管トランペットやEsバスを使用する彼らのサウンドこそが、かつてアーノルドが望んだ金管五重奏の響きそのものなのだ。カナディアン・ブラスやエムパイア・ブラスの出現以降、金管五重奏はエンターテインメントのステージが中心となってしまったが、世代は変わっても凄腕揃いのこのロンドン響ブラス・クインテットを聴けば、他の室内楽と比肩し得るこの編成本来の在り方を確認できるに違いない。

佐伯 茂樹(音楽評論家)

## ロンドン交響楽団ブラス・クインテット LSO Brass Quintet



©Kevin Leighton

ロンドン交響楽団ブラス・クインテットは、1970年代、世界的に著名なバリー・タックウェル、デニス・ウィック、ウィリー・ロン、ハワード・スネルらの奏者が在籍した時代に結成されたロンドン交響楽団ブラス・アンサンブルにその源流があり、LSOの完璧とも呼ばれるサウンド、とりわけ映画音楽のメロディなどを支える金管セクションの首席奏者を中心に結成された。「スター・ウォーズ」、「スーパーマン」、「ハリー・ポッター」などのサウンドトラックでも彼らのサウンドを聞くことができる。現在、フィリップ・コブ(トランペット)、ニール・キートリー(トランペット)、ティモシー・ジョーンズ(ホルン)、ダドリー・ブライト(トロンボーン)、パトリック・ハリルド(チューバ)がメンバー。LSOの本拠地である英国ロンドンをはじめ、日本も含めた諸国での演奏活動のほか、LSO教育プログラム「LSOディスカバリー」などコミュニティ活動も積極的に行っている。

## ロンドン交響楽団 LONDON SYMPHONY ORCHESTRA

2013年 3/7(木)19:00・3/9(土)14:00 サントリーホール

指揮:ベルナルト・ハイティンク ピアノ:マリア・ジョアン・ピリス

曲目: [3/7] モーツァルト:

ピアノ協奏曲 (番号未定3/9とは別の曲の予定)  
(ピアノ: マリア・ジョアン・ピリス)

ブルックナー:  
交響曲第9番 二短調

[3/9] プリテン:

オペラ「ピーター・グライムズ」から 4つの海の間奏曲

モーツァルト:  
ピアノ協奏曲 (番号未定3/7とは別の曲の予定)  
(ピアノ: マリア・ジョアン・ピリス)

ベートーヴェン:  
交響曲第7番 イ長調 op.92

S ¥30,000 A ¥25,000 B ¥20,000 C ¥15,000 D ¥10,000 プラチナ券 ¥35,000

■7月頃発売予定



## チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

<http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 163-728)

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

CNプレイガイド 0570-08-9990

ローソンチケット 0570-000-407

朝日ホールチケットセンター 03-3267-9990

[twitter @kajimoto\\_News](https://twitter.com/kajimoto_News)

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。

iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応

チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売: 2/21(火)10:00~

- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
- 団体料金金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。